

2023年9月22日

ほしざらサロン 2023年8月議事録

文責：阪本 麻裕

日 時： 2023年8月26日(土) 18:00~20:00

場 所： プラネタリウム事務所

参加者： 麻生，阿部，高尾，高木，永井，濱島，宮田

(50音順、敬称略)

職 員： 小野田，平野，角田，石橋，阪本

計12名

* リモート(Microsoft Teams, Zoom) 参加者はなし

1. 9月30日(土) ほしざらウォッチング「お月見」について

===== 予定 =====

20:00~21:00 月[月齢15.4]の観望 @風の丘

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説に変更して行う。

【使用予定機材】

・タカハシ 10cm 屈折望遠鏡③ 観望天体：月

・SkyWatcher 15cm ニュートン式反射望遠鏡 観望天体：月

・セレストロン 28cm シュミット・カセグレン式望遠鏡 観望天体：月

・ビクセン 8cm 対空双眼鏡① 観望天体：月

・ビクセン 8cm 対空双眼鏡② 観望天体：月

※ 翌週開催のイベントがあるため、芝生広場周辺は利用禁止になる予定。

角田：満月から1日経った月で、月の出が18時39分である。先日行った出張観望会にて、対空双眼鏡でじっくりと時間をかけて月を見る方が多いように感じた。そのため、対空双眼鏡は2台準備した方が良いと思う。昨年の来場者が400人でかなり多かったため、今年はどうなるか不安である。

高木：望遠鏡の設置準備を終えたら、観望会開始まで待機すれば良いのか。

角田：南東の空に土星が見えているため、数人程度であれば見せても良いと思う。

小野田：昨年は、最初土星を何人かに見せていたが、いつの間にか風の丘を一周するほど長蛇の列になっていた。今年も土星は見えているが、昨年と同じような状況になると大変であるため、サービス精神旺盛にならないように留意するべきだ。

濱島：インドの探査機「チャンドラヤーン3号」が月の南極あたりに着陸をしたということを、お

客さんに話しても良いか。

角田：調べてみると、東経約 32 度、南緯約 69 度の場所で、マンジヌス・クレーターに着陸したようだ。

高木：ティコクレーターの南側にある。おおよその着陸場所を把握していれば良いのでは。

角田：思いのほか、着陸場所は見えるところにあった。情報として持っていると良いと思う。月の高度は低いため、天頂プリズムは使う必要はない。また、今まで来場者数が少ないとスクリーンを出していたが、次第に参加人数が増加していることもあり、今回は出さなくて良いかも知れない。

小野田：例年は、スクリーンに月を映し、ブルーシートを敷いていた。その上で、来場者にまつり過ごしていただいている。

角田：月の写真を撮れる望遠鏡を 1 台準備しても良いのでは。過去に 20 人限定で月を撮影する回を古墳広場で行ったことがある。次のサロンのときに、スマートフォン用のアダプタを使用して、スタッフで試してみても良いかも知れない。

-->最初は、月のみを望遠鏡で導入する。時間に余裕があれば、土星も導入する予定。

===== 今後のほしざらウォッチングの予定 =====

9 月 30 日(土) 「お月見」 20:00~21:00 月 [月齢 15.4] の観望

【今年の中秋の名月…9 月 29 日(金)】 ※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみ行う。

11 月 11 日(土) 「木星・土星」 19:30~20:00 プラネタリウムでの解説

20:00~21:00 天体観望

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみ行う。

2. ほしざら合宿について

例年、プリンセス駅伝開催に伴う休館日 [10 月 22 日(日)] に併せて、熊本県の清和高原天文台にて、ほしざら合宿 (1 泊 2 日) を開催している。

小野田：合宿は、私たち自身が原点に返るために実施している。観望会は、お客様に天体を見せることが目的。そこで、私たち自身が“星が好きである”という共通の原点を再認識するための機会として、合宿を始めた。

角田：17 時 30 分までにチェックインをし、その後夕食の予定である。50cm 反射望遠鏡による観望会は、二部制で行っているようだ。施設は 22 時まで開館しており、22 時以降は、各々望遠鏡で天体を見たり、寝転がりながら星を見たりして過ごしている。これまでには、車で出入りすることができたが、今年は 22 時以降、駐車場が施錠されるため、日帰りすることは難しくなった。

平野：ベッドが 2 台、布団が 2 組あるようだ。

角田：公式サイトと他のウェブサイトの表記が異なるため、確認が必要だ。

-->次のサロンまでに、合宿の参加登録をお願いいたします。

【その他 合宿参加における注意点】

- ・延長コードやブルーシート、銀マットを忘れないように。--> 職員が持参
- ・スキーウェア等の防寒着を持参すること（標高 600 メートルの場所であるため、かなり寒い）。
- ・秋の行楽シーズンのため、高速道路が混雑する見込み。
- ・観望会参加の際、案内する方がグリーンレーザーを振り回すため、留意する。
- ・他の宿泊者もいる。一般の方は星を見るときの常識は通用しないため、予め門灯（入口ドア上の外照明）は消灯する。
- ・市街地の明かり、南東のスキー場の巨大な風車のあたりが一晩中光っている。
- ・就寝するときはカーテンを閉める（朝の直射日光が眩しい）。
- ・22 時以降は、駐車場が施錠されるため、車の出入りができない。

3. 9月以降の活動について

- ★ 9月 30 日（土） ほしづらウォッチング「お月見」（20:00～21:00）
- ★ 10月 14 日（土） ほしづら友の会（13:30～16:00 火薬ロケット工作）
- ★ 10月 21 日（土）～22 日（日） ほしづら合宿候補日
- ★ 10月 28 日（土） ほしづらサロン（18:00～22:00）
- ★ 11月 11 日（土） ほしづらウォッチング「木星・土星」（19:30～21:00）
- ★ 11月 18 日（土） ほしづら友の会（9:30～10:45 火薬ロケット打ち上げ）
ほしづらサロン（18:00～22:00）
- ★ 11月 25 日（土） 出張観望会@ユリックス[自由ヶ丘 8 丁目こども会]（19:00～20:30）
- ★ 12月 9 日（土） ほしづら友の会（9:30～10:45 流れ星について）
- ★ 12月 23 日（土） ほしづらサロン（18:00～22:00）

■ 参加登録についてのお願い

リモート（Microsoft Teams, Zoom）で参加される方も、参加登録をお願いします。

「△」の方は、参加の可否が分かり次第、「○」または「×」の再記入をお願いいたします。

次回のほしづらサロンは、2023年9月23日（土・祝）です。